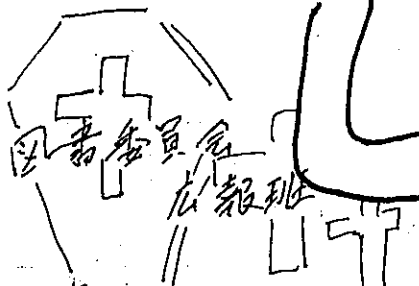


# LalaLa Library

10月号



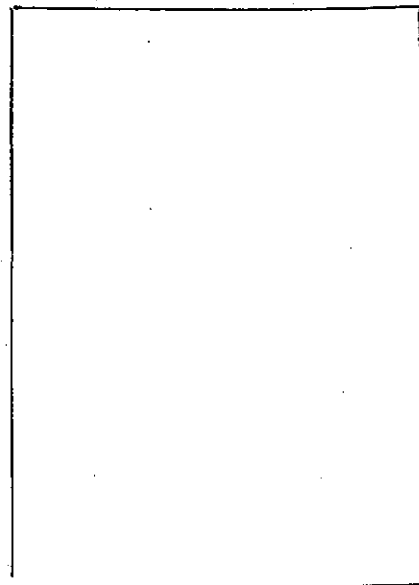
空気の澄んだ秋晴れの日が多く分ってきた今日このころ、皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

スポーツの秋、食欲の秋、色々の秋がありますが、今年は何書の秋にしてみませんか？

日々の生活で一杯、一杯何人も多いかと思いきや、是非一度立ち止まって、まったりと読書を楽しんでみてください。一冊でも多くの本が運命の一冊と出会えることを願って。

## 『世界で最も美しい書店』 The 20 Most Beautiful Bookstores in the World

「いまや第二のインターネットでデジタル革命とこえいえる高度情報化の時代、むしろ紙の本がなくては読書はできず書店がなくては本は買えず」そんな文言から始まるこの一冊は世界の美しい書店を紹介しています。大判の写真とともに解説が載せられているので読者が若干何人もさ、と楽しめると思っています。ぜひ、私たちの足は書店へと向かうのでしうか。その答えが、この本に隠されているのかもしれない。



## 『その本は』 又吉直樹 ヨシタケシンスケ

老いて目が見えないとある国の本好きな王様は、2人の男に世界中の「めずらしい本」の話を聞いてくるよう託しました。1年後、2人は王様に1日交代で「その本は...」と語り始めます。

- ・ボンヤリしている本
  - ・小学生2人の交換日記
  - ・警察に追われている本
  - ・とんでもない速さで走る本
- 短編集でとても読みやすく、古びた本のような仕様のページとヨシタケシンスケさんのかわいいイラストにも癒される本です。
- などなど...

## 『猫のお告げは樹の下で』 青山 美智子

ふらっと立ち寄った小さな神社で出会った不思議な猫、ミクジは神社にある樹からおみくじのように一枚、お告げの書かれた葉を落とします。主人へたちはそのお告げをきっかけに行動し始め、それぞれの幸せを見つけていきます。お告げの意味に気づいたとき、ふんわり心が温かくなる7つの短編集。

